



きらりん えがお

令和5年3月16日
平田幼稚園
園長 田中佳江

ご卒園 おめでとうございます

花壇やプランターの花がきれいに咲きそろい、あたたかな日差しが降り注ぎ、春の訪れを感じるようになりました。早いもので、この園長だより『きらりんえがお』を年長組保護者の皆様に発行するのもこれが最終号となりました。

年長組になったばかりのころは、一番上の学年になった嬉しさと不安が入り混じったような表情の子どもが多かったように思います。それでも、ぐんぐんタイムや誕生会の司会、きらりん挨拶隊、運動会や遠足など異年齢活動など、少しずつ年長児としての活動を経験していくうちに、リーダーとしての自覚が芽生えてきました。そして、最初は教えてもらったようにリーダーの活動をしていた子ども達が、だんだんと「こうしたらカッコいいよ」「優しく手をつないであげよう」など、自分達でリーダーとしてどういう行動をすればよいのか考えられるようになってきました。その姿を見た時、子ども達の『自ら考える』姿勢と成長がとても嬉しかったですし、「立場が人を成長させる」という言葉は、まさにそのとおりでなと思いました。

また、たくさんの楽しい遊びを考え、友達と一緒に取り組みました。自分なりに、自分たちなりに考え工夫した遊びは、上手い出来ないことも多かったと思いますが、試行錯誤を繰り返し、出来上がったり、成功したりした時の喜びは格別のものだったことでしょう。難しいことにもチャレンジしたことで、繰り返し挑戦し、できた時の喜びや、なかなかできない悔しさなども経験しました。そして、友達と一緒に遊ぶことが何より大好きなあお組さん。誘い合ったり、話し合ったり、時にはケンカもしたりしながら、互いの良い所も見つけ、仲間としてのつながりを深めていきました。

2月の終わりに、『お楽しみ給食』で年長児を5～6人ずつ研修室に招き、一緒に給食を食べたり、食後にいろいろな話をしたりして過ごす機会を設けました。その時に、一緒に食べている友達の良い所を見つけあって盛り上がりました。「鉄棒や縄跳びができてすごい」「折り紙が上手だよ」といったことから、だんだん「笑顔が素敵」「友達に優しい」「難しいこともあきらめないところ」「頑張り屋さん」など、目に見えない所も見つけて褒めていました。全身で友達と関わり、良い所をたくさん見つけられるあお組の子ども達の、しなやかでたくましい心の育ちを感じた一場面でした。

このように、異なる輝きをもった一人一人の成長を入園から卒園まで間近で見つめ、その学びと育ちに関わることができたことを本当に嬉しく思います。新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの園生活でしたが、子ども達はいつものびのびと前向きにたくさんの経験を重ねていきました。これも保護者の皆様のいつも変わらぬご理解とご協力、あたたかい励ましの言葉があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。これからも一人一人が自分らしく輝き、良さを発揮し、健やかな成長をしていけますことを、心からお祈りいたします。

今年度、各種団体から助成金をいただき、子ども達の活動に使わせていただきました。ありがとうございました。

・平田地区交通安全対策協議会より
5,000円

・交通安全協会平田支部より
10,000円



いつも元気いっぱい！あお組



卒園式のリハーサル